第 109 回　計測技術委員会議事録

日　時　平成 18 年 1 月 20 日（金）　14：00～16：00
場　所　電気倶楽部　第 2 会議室
出席者　委 員 長　信太（佐賀大）
　　　　委　　員　伊澤（菊水電子）、内田（電通大）、大木（日電検）、大谷（アンリツ）、
　　　　　　　　　小野（日本大）、佐山（防衛大）、中島（三菱電機）
　　　　幹　　事　作本（日電検）
　　　　幹事補佐　白井（日電検）

資　料
109-1　第 66 回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会議事録
109-2　平成 18 年度　計測技術委員会活動計画（三次案）
109-3　平成 18 年度　計測研究会開催予定（三次案）
109-4　平成 17 年度　活動ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟｼｰﾄ
109-5　平成 17 年度　計測研究会開催状況
109-6　平成 17 年　優秀論文発表賞　候補者
109-7　平成 18 年度　電気学会全国大会第 3 回委員会
109-8　2005 年第 2 回 Chapter Operations Committee Meeting

議　事
１．議事録の確認
・異議なく承認された。

２．運営委員会報告（平成 17 年 11 月 9 日開催分）
白井幹事補佐（信太委員長代理出席）より、資料 109-1 に基づき以下の報告があった。
イ．調査専門委員会の解散（6 件）および新設（8 件）が承認された。
［解散］
・計算電磁気学（基礎・応用）調査専門委員会　（電磁界理論技術委員会）
・ﾅﾉﾒｰﾄﾙ電磁波・ X 線電磁界技術調査専門委員会　（電磁界理論技術委員会）
・自然電磁気現象解明と電磁界解析調査専門委員会　（電磁界理論技術委員会）
・構造物への雷放電特性調査専門委員会　（放電技術委員会）
・ﾅﾉｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ材料の誘電・絶縁応用技術調査専門委員会　（誘電・絶縁材料技術委員会）
・ｹｰﾌﾞﾙ・電気機器のｵﾝﾗｲﾝ計測による絶縁劣化診断調査専門委員会
（誘電・絶縁材料技術委員会）
［新設］
・ X 線電磁界応用技術調査専門委員会　（電磁界理論技術委員会）
・計算電磁気学の基礎解析技術調査専門委員会　（電磁界理論技術委員会）
・電磁界逆散乱解析調査専門委員会　（電磁界理論技術委員会）
・ﾒﾀﾙｽﾊﾟｯﾀﾌﾟﾗｽﾞﾏの高度化調査専門委員会　（プラズマ技術委員会）
・荷電粒子、励起種、解離種ならびに光子と原子分子ﾀﾞｲﾅﾐｯｸｽ調査専門委員会
（放電技術委員会）
・非熱平衡大気圧ﾌﾟﾗｽﾞﾏと環境浄化ﾌﾟﾛｾｽ調査専門委員会　（放電技術委員会）

・屋外用ﾎﾟﾘﾏｰ絶縁材料の表面機能と長期性能調査専門委員会（誘電・絶縁材料技術委員会）
・ﾅﾉｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ誘電体の界面現象と応用技術調査専門委員会　（誘電・絶縁材料技術委員会）

ロ．研究奨励賞について

・ﾏｸﾞﾈﾃｨｯｸｽ技術委員会から提案された研究奨励賞が承認された。各技術委員会でも同様の取組みを検討してほしい。ﾏｸﾞﾈﾃｨｯｸｽ技術委員会で作成した規約をメールで送付する。

ハ．編集長制度について

・ｴﾃﾞｨﾄﾘｱﾙﾎﾞｰﾄﾞの構成として、従来の主査 4 名をエディタとして選出し、ｱｿｼｴｲﾃｯﾄﾞｴﾃﾞｨﾀを各技術委員会から募集する。

ニ．上級会員について

・年間 200 人を目標としているが、達成できていない。在籍点の上乗せや部門長推薦を考慮することも検討されている。

ホ．技術者教育委員会報告

・大学院版 JABEE の議論が急展開している。審査員を養成する必要がある。

３．平成 18 年度活動計画並びに計測研究会開催二次案

作本幹事より、資料 109-2 および 109-3 に基づき、平成 18 年度活動計画並びに計測研究会開催三次案について説明があった。

・ A 部門大会は 8 月 21 日～22 日に熊本大学で開催される。

・ 9 月の東京支部連合研究会には「光応用計測」のテーマで参加する。共同開催については、光応用・視覚技術委員会から内諾を得ている。

・見学会の希望場所があれば提案してほしい。

・研究会の担当委員は以下のとおりとする。

開　催　年　月	テ　ー　マ	担当（敬称略）
平成 18 年 5 月	計測一般	作本、白井
平成 18 年 6 月	電磁波計測	田辺、廣瀬
平成 18 年 7 月	計測一般	中島、白井
平成 18 年 9 月	光応用計測	大谷、小野
平成 18 年 10 月	生体計測及び一般	内田、稲垣
平成 18 年 11 月	計測一般	信太、白井
平成 18 年 12 月	ﾘﾓｰﾄｾﾝｼﾝｸﾞ及び一般	佐山、浦塚（白井）
平成 19 年 1 月	計測一般	伊澤、作本
平成 19 年 2 月	応用磁気計測及び一般	大木、白井

４．平成 17 年度活動状況

作本幹事より、資料 109-4 および 109-5 に基づき、平成 17 年度活動状況について説明があった。

・平成 17 年度は技術委員会を 4 回、見学会を 1 回開催した。また、平成 17 年 1 月～12 月の計測研究会の発表件数は 71 件となった。

５．優秀論文発表賞候補者推薦

作本幹事より優秀論文発表賞候補者の報告があった。

・各研究会における採点結果を集計し、同点者については電子メールで投票を行った。その結果、候補者に防衛大学校の奥田氏が、次点候補者に日本大学の門馬氏が選出された。

６．調査専門委員会について

作本幹事より「周波数・時刻の高精度計測応用技術調査専門委員会」について報告があった。

・当該委員会は 3 月に終了する予定で、2 月に開催される計測研究会資料をもって終了報告書とする。

・解散報告書は 5 月の運営委員会に提出する。

７．全国大会委員会報告

作本幹事より 3 月 15 日～17 日に開催される全国大会について報告があった。

・申込みは 1368 件となり、前年比で 138 件の減少となった。

・平成 19 年の全国大会は 3 月 15 日～17 日に富山大学で開催される。また、平成 20 年は九州地区での開催が予定されている。

・全国大会委員会や実行委員会の整理を行い、細かな案件については小委員会を設けて検討することとなった。

８．IEEE Chapter 会議報告

作本幹事より Chapter 会議報告があった。

・ 50 周年行事として、功労賞の授与が予定されている。IM-09 から武蔵工業大学の中添先生を推薦した。

・支援費を活用するように要請があった。使途は研究会の懇親会補助などである。

次回予定

日　時　平成 18 年 5 月 19 日（金）

場　所　未定